

市場概況・今後の見通し

【12月の市場概況】(NYダウ・米ドル/円)

NYダウは、上昇しました。
FOMC(米連邦公開市場委員会)を受けた先行きの利上げペースが緩やかとの見方や、米税制改革法案の成立などを好感し、過去最高値を更新するなど堅調に推移しました。

米ドル/円は、円安・米ドル高となりました。
米ドル/円は、米税制改革法案成立により米景気が加速するとの見方から、小幅に上昇しました。

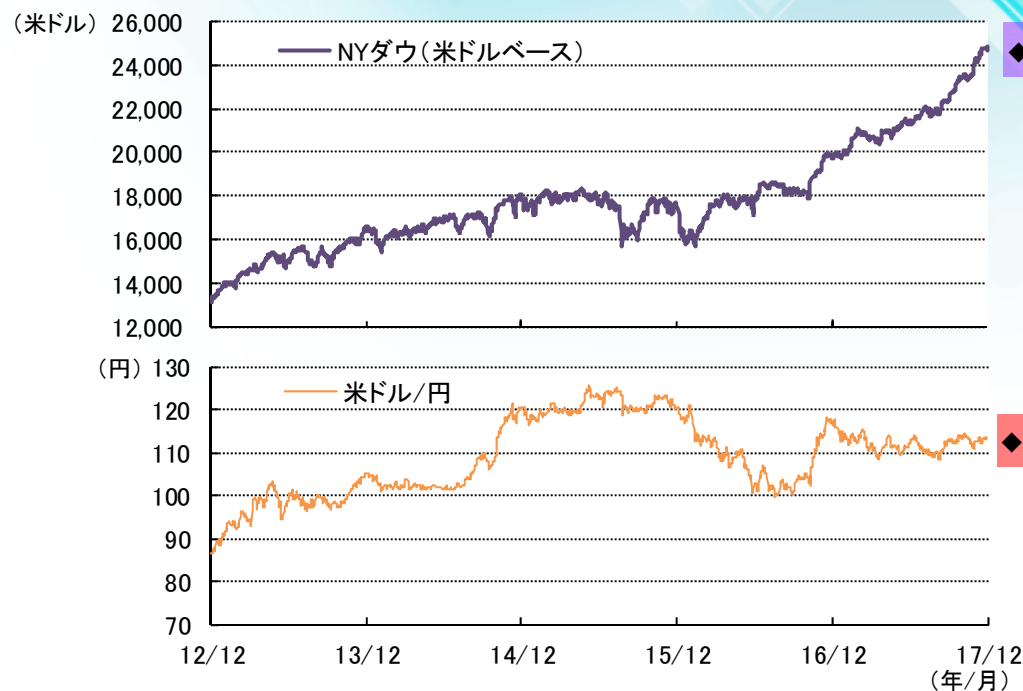
【今後の見通し】(NYダウ・米ドル/円)

米国の2017年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率(確報値)は、前期比年率+3.2%と底堅い伸びを維持しました。
米国では、雇用の改善により個人消費が堅調なことや景況感が高水準にあることから、景気回復基調が続く見通しです。金融政策については、景気回復を背景に緩やかなペースでの利上げが継続する見込みです。

NYダウは、北朝鮮情勢などが重石となるものの、減税による米企業業績の改善や米景気の上振れ期待などが下支えとなることから、底堅い推移が見込まれます。

米ドル/円は、米国のインフレ率の上昇は緩やかと見られるものの、米景気は堅調に推移すると見込まれることから、底堅い展開が見込まれます。

NYダウ(米ドルベース)・米ドル/円レートの推移
(2012年12月末～2017年12月末)



【12月のマーケットデータ】	12月末	11月末	騰落率	最低	最高
NYダウ(米ドル)	24,719.22	24,272.35	1.84%	24,140.91	24,837.51
米ドル/円	113.00	112.05	0.85%	112.40	113.65

※対顧客電信売買相場仲値(本邦営業日ベース)、為替の騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高

◆【1月の予想レンジ】

NYダウ(米ドル)	23,500—26,000
米ドル/円	107円—119円

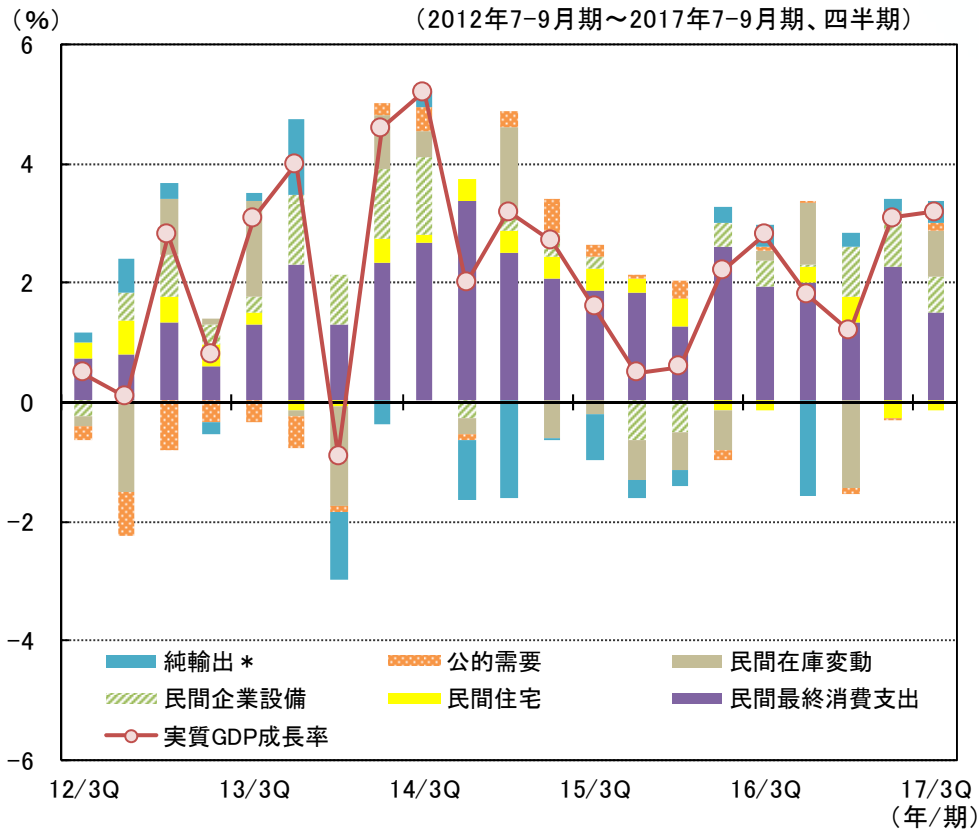
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国経済①

- 2017年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率(確報値)は前期比年率+3.2%と4-6月期の同+3.1%から伸びが小幅に加速した。
- 12月の失業率は前月から横ばいの4.1%、同月の非農業部門雇用者数は前月比で14万8,000人増加した。

実質GDP成長率寄与度(前期比年率換算)

(2012年7-9月期~2017年7-9月期、四半期)



* 純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 輸入

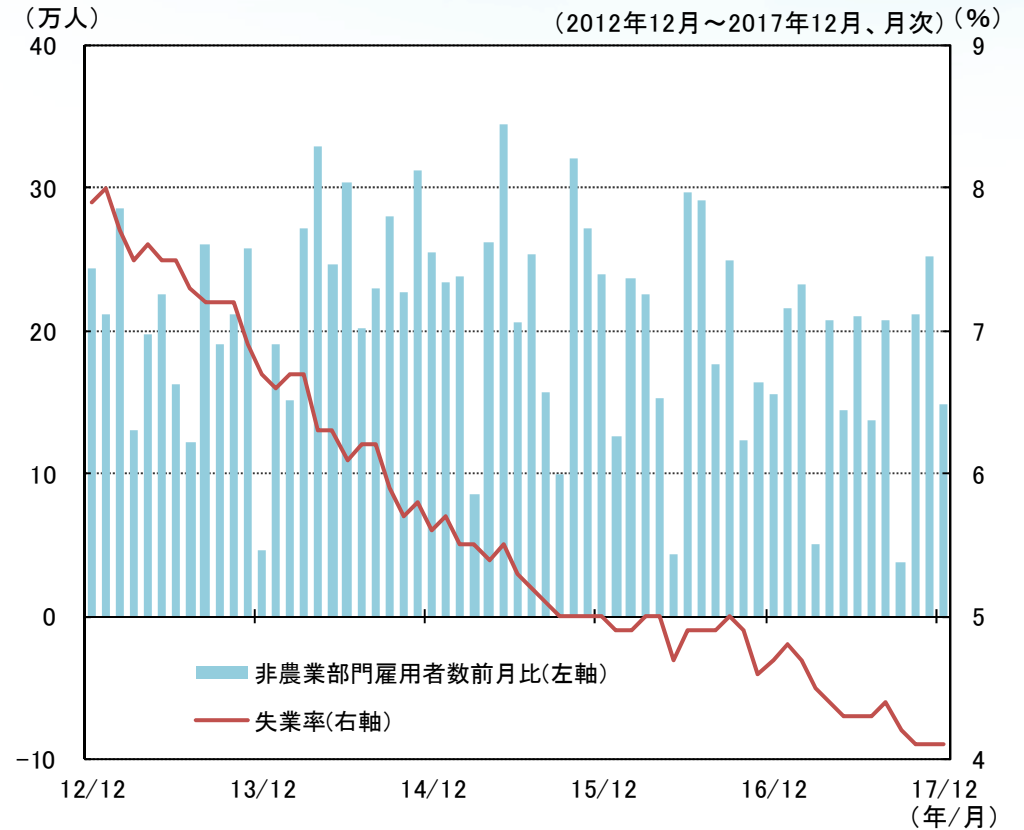
※3Qは7-9月期を意味し、例えば12/3Qは2012年7月から9月の3カ月間を示す。

※季節調整済み

(出所)米商務省のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

雇用状況

(2012年12月~2017年12月、月次)



※17/11、17/12は暫定値。

※季節調整済み

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

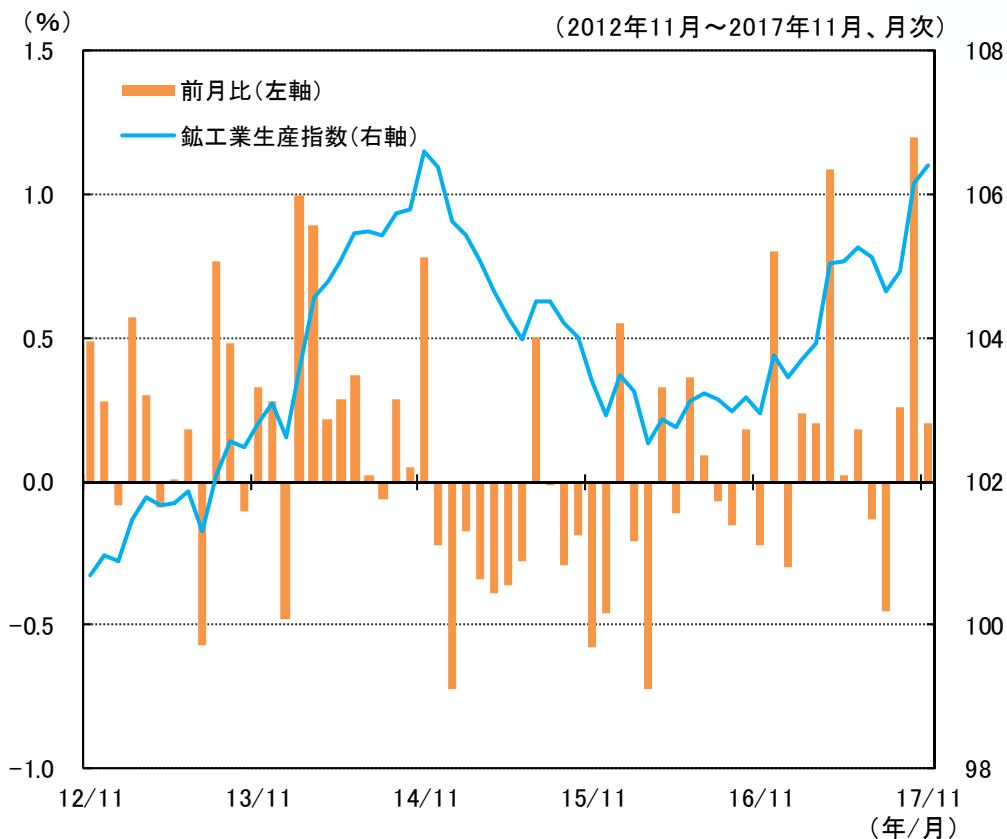
米国経済②

○11月の鉱工業生産は、前月比+0.2%と3カ月連続でプラスとなった。

○12月のISM(米供給管理協会)製造業景況指数は前月比+1.5ポイントの59.7、同非製造業景況指数は前月比▲1.5ポイントの55.9となった。

鉱工業生産指数

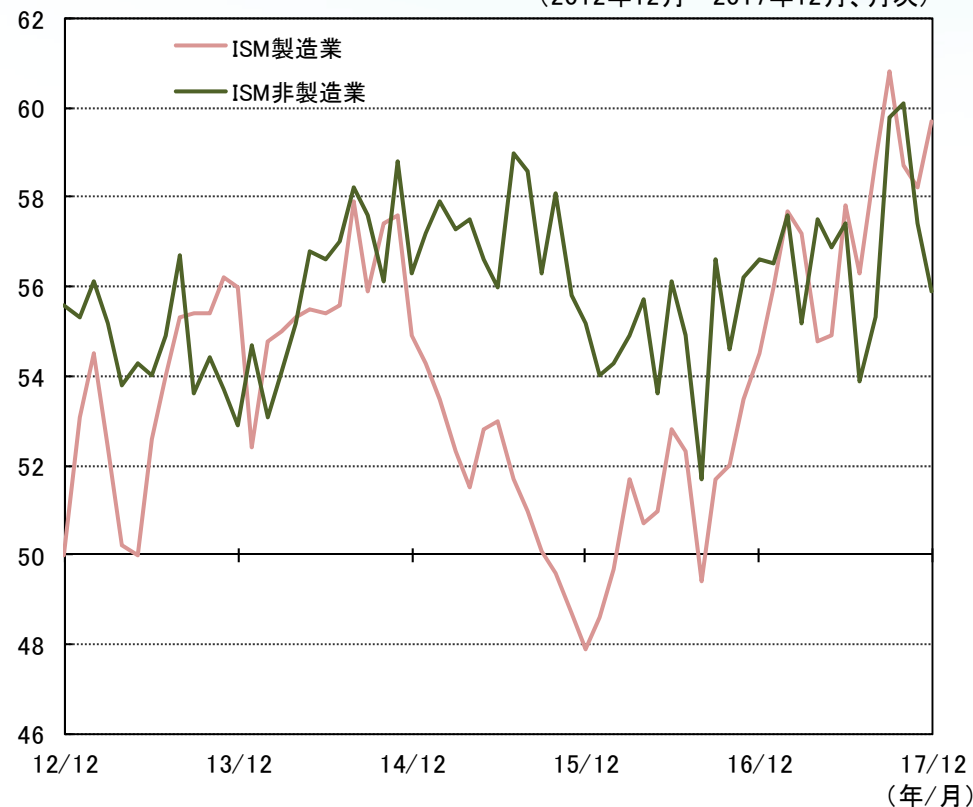
(2012年11月～2017年11月、月次)



※季節調整済み
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

ISM景況指数*

(2012年12月～2017年12月、月次)

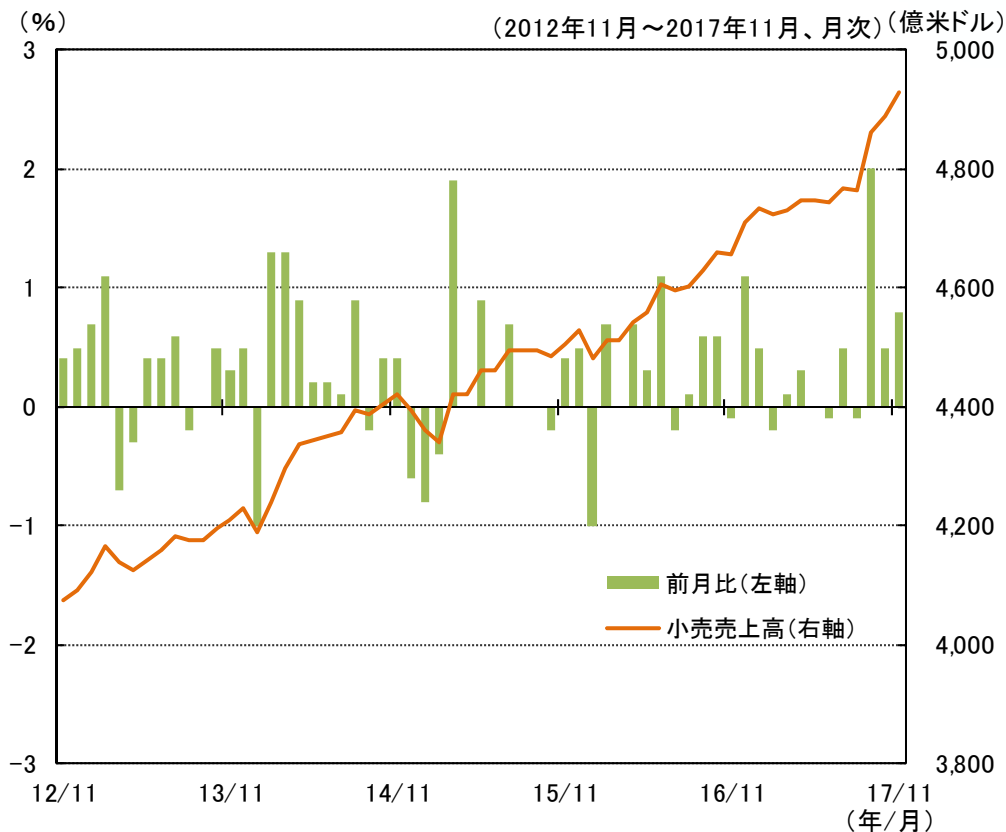


*ISM景況指数: ISM(米供給管理協会)が発表する企業の景況感を示す景気転換の先行指標。購買担当責任者に前月と比較しどう変化したかをアンケート調査し結果を指数化したもので、50を景気の拡大・後退の分岐点としている。
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国経済③

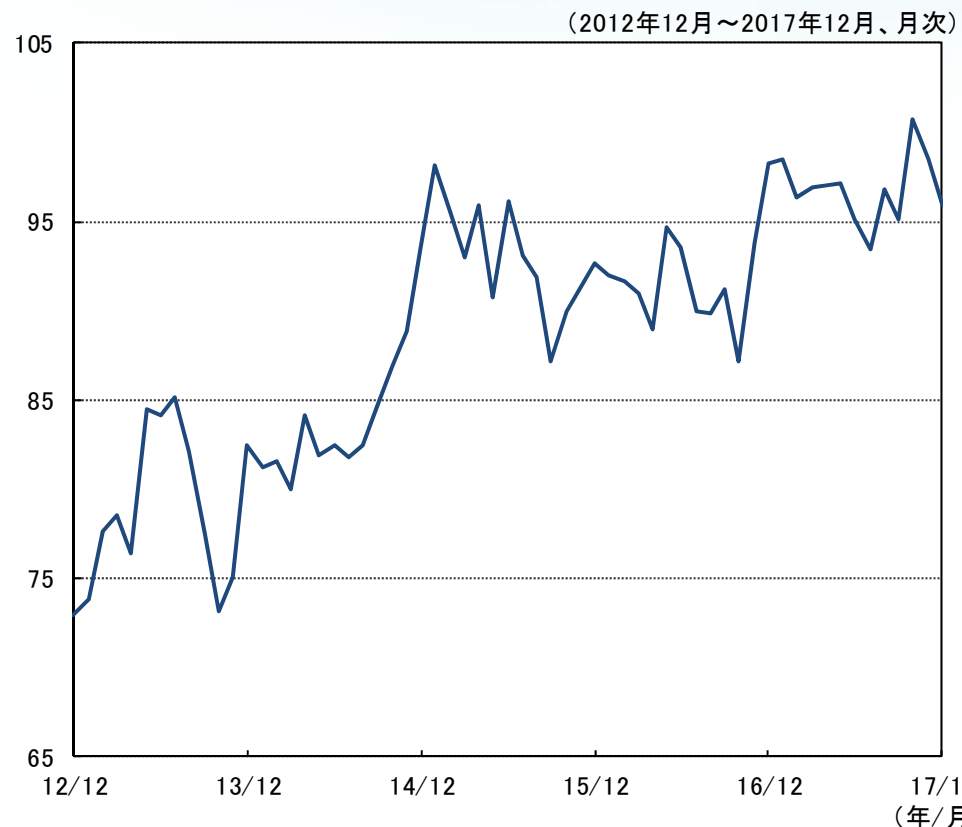
- 11月の小売売上高は前月比+0.8%と3カ月連続でプラスとなった。
- 12月の消費者マインド(確報値)は前月比▲2.6ポイントの95.9ポイントとなり、2カ月連続で低下した。

小売売上高



※季節調整済み
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

消費者マインド*



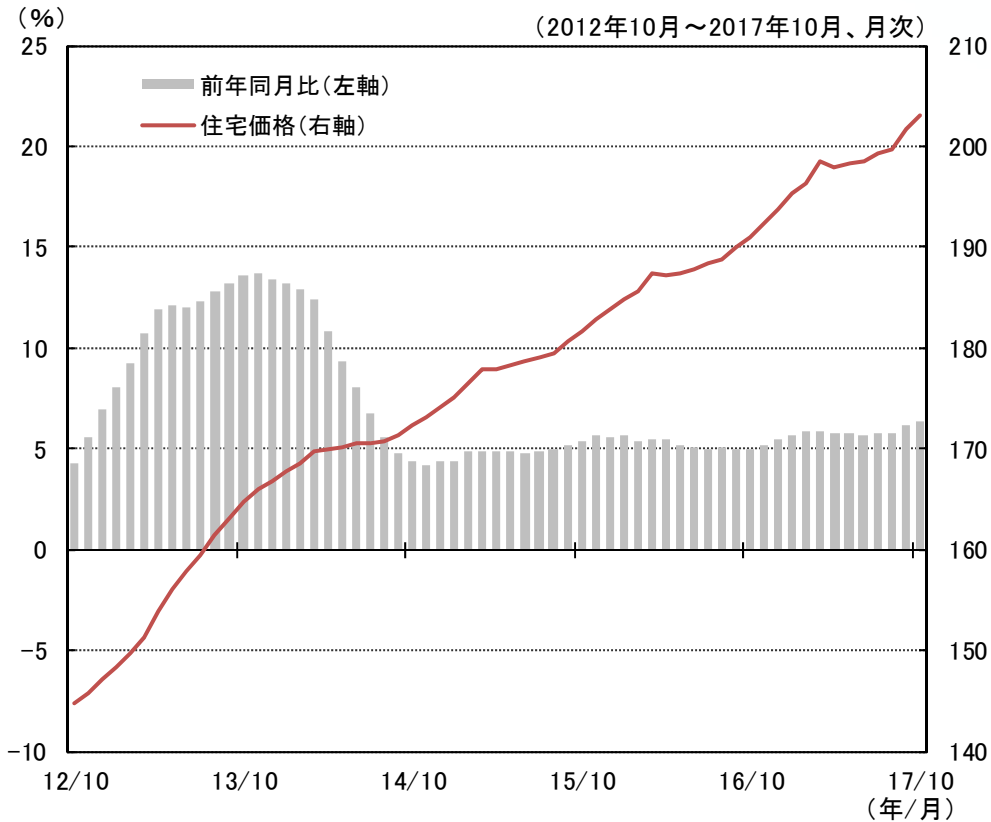
* 消費者マインド(ミシガン大学消費者信頼感指数): 米ミシガン大学が調査・発表し、1966年を100として指数化したもの。
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国経済④

○10月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数(全米20都市)は前年同月比+6.4%と前月の同+6.2%から伸びが加速した。

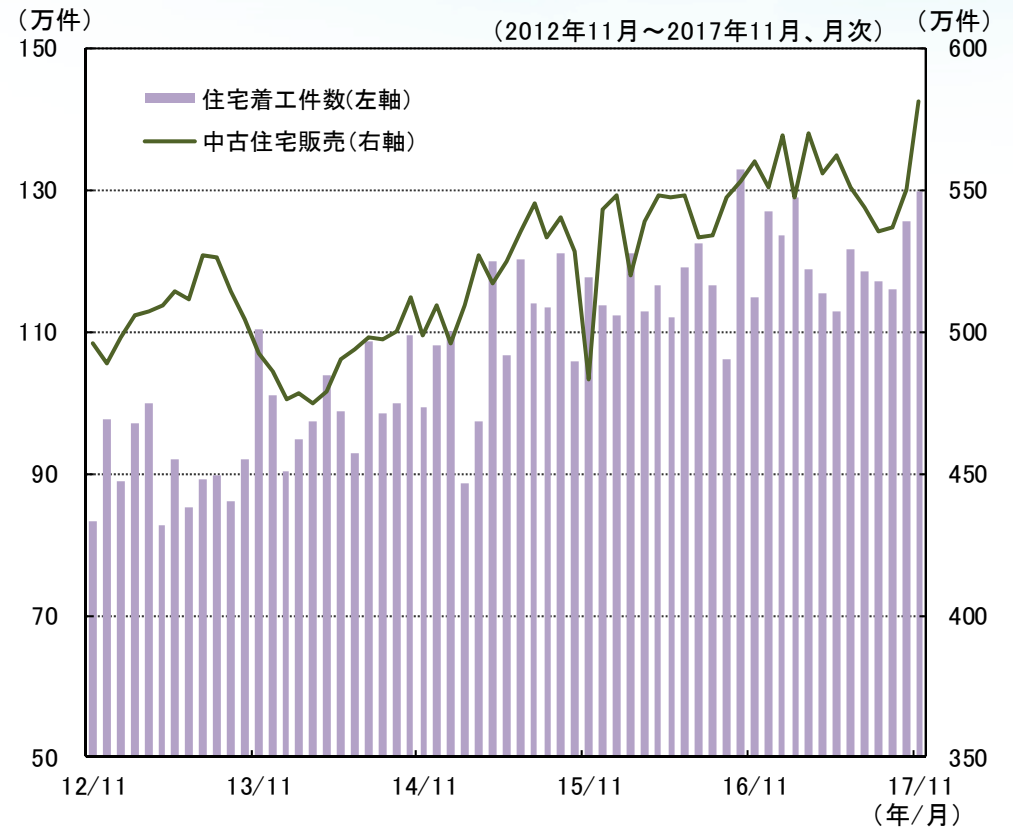
○11月の住宅着工件数は前月比+3.3%の年率換算129.7万件、同月の中古住宅販売件数は前月比+5.6%の年率換算581万件となった。

住宅価格*



* 住宅価格: S&P/ケース・シラー住宅価格指数(全米20都市)
 ※季節調整済み
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

住宅着工件数と中古住宅販売件数(年率換算)



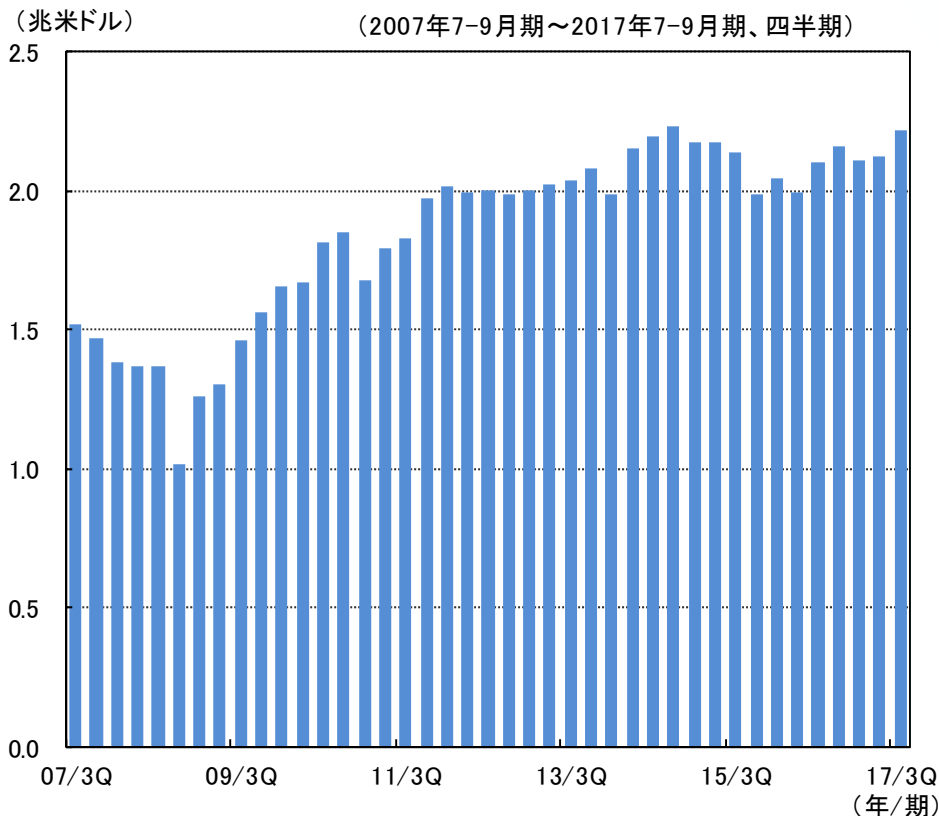
※季節調整済み
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国経済⑤

○2017年7-9月期の企業利益(年率換算)は2014年10-12月期以来の高水準となった。

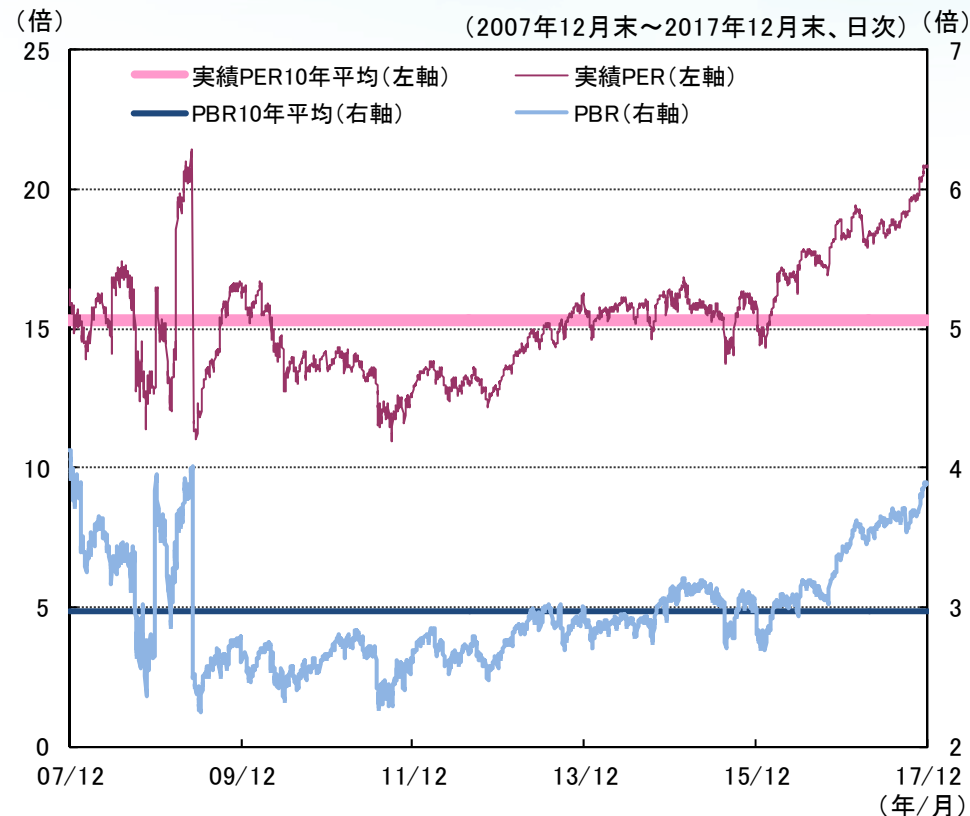
○NYダウのPERとPBRは、過去10年(2007年12月末~2017年12月末の日次データ)における平均より割高な水準にある。

企業利益(年率換算)



※3Qは7-9月期を意味し、例えば07/3Qは2007年7月から9月の3カ月間を示す。
 ※季節調整済み
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

NYダウの実績PER*1とPBR*2



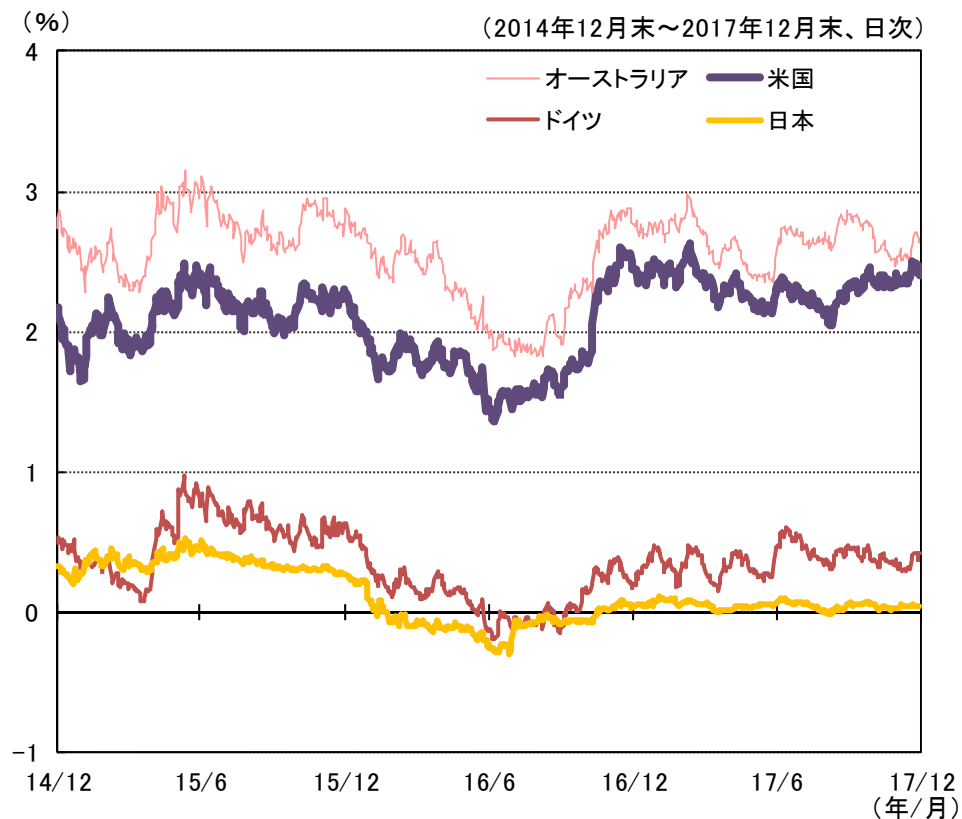
*1: 実績PER(株価収益率) = 株価 ÷ 1株当たり当期純利益
 *2: PBR(株価純資産倍率) = 株価 ÷ 1株当たり純資産額
 ※実績PER10年平均、PBR10年平均はグラフ期間の日次データを使用して算出
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国金利・為替

○12月の米10年国債利回りは、先行きの利上げペースが緩やかとの見方と米税制改革法案成立による景気加速期待が交錯し、横ばい圏の動きとなった。

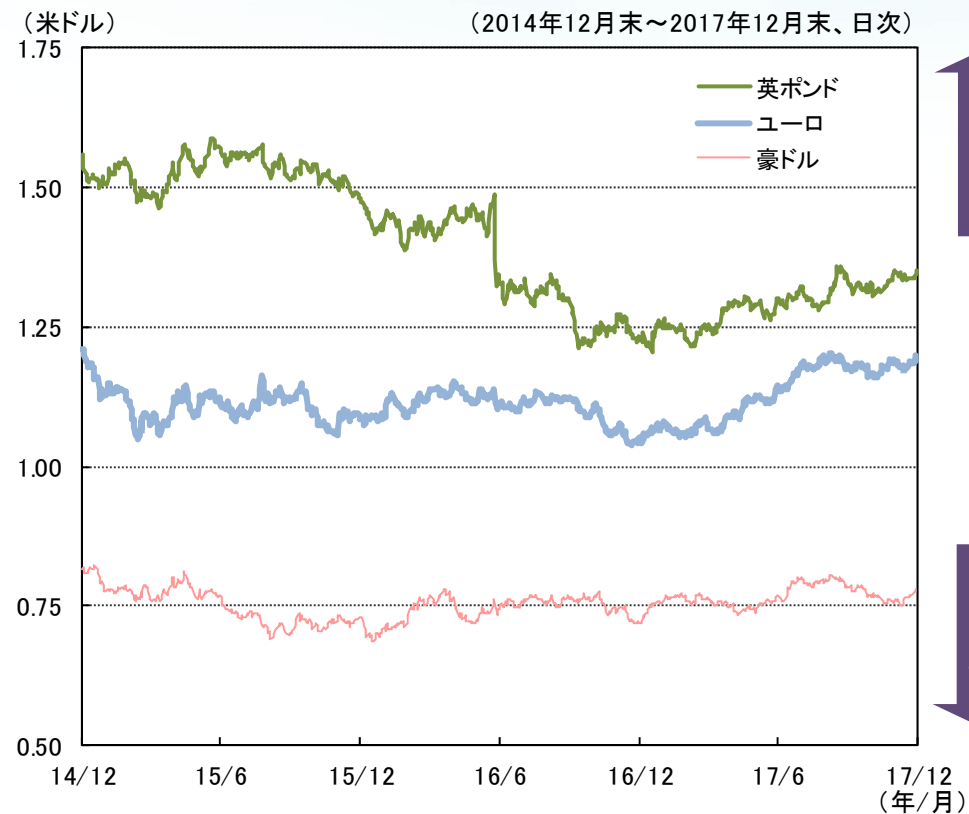
○12月の米ドルは、対英ポンドではほぼ横ばい。対ユーロ、対豪ドルで下落する展開となった。

10年国債利回り



(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

対米ドル為替



(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。